



## 狭名田長寿会（霧島市）

発表者：狩川公男氏

こんにちは。大変良い天気です。

私ども、霧島市霧島地区の狭名田地区長寿会についてご紹介をいたします。

あがっていますので棒読みでいきますから、どうぞご勘弁ください。

まず、自己紹介からまいります。昭和14年生まれの75歳、会長の狩川公男と申します。どうかよろしく申し上げます。

6年前に、もう一人の同級生と一緒に加入をさせていただきました。加入させられたというほうが当たっているかもしれません。私はいきなり副会長に、もう一人は会計の役職を申しつけられました。副会長は、運動部長を兼ねるしきたりだから運動部長まで引き受けてくれということで、最初からサプライズの長寿会でした。

狭名田地区長寿会という組織は、振り返ってみますと、かなり古くなりますが、記録の一番古いもので、昭和48年4月であります。先輩方の記憶によれば、昭和35～36年までさかのぼるのだという思い出もあるようでございます。

この会は、霧島市霧島地区の堀之内自治会・狭名田自治会・市後柄自治会で狭名田地区公民館が組織され、各自治会の長寿者で狭名田地区長寿会を構成しております。各自治会から、活動の資金援助をいただいております。

この会の特徴や構成等について、少々話をしておきます。

会員がちょうど50名です。男性が21名、女性が29名となっております。

まず第一に、ほかの組織にない古い歴史的遺産を預かっていることであります。それは、私どもの地元にある天孫降臨の神話に出てくる、日本最古の水田と言われる狭名田の長田です。霧島神宮の水田に係る遺跡の維持管理を、市当局と業務委託契約を結んでいることです。そのような関係で、この水田で行われる霧島神宮のお田植え祭の早乙女・早男の参加を要請されて、毎年それを引き受けて実施しております。





次が、先輩物故者の彼岸法要の件です。これは、他の長寿会でも行われていると思いますが、私どもの会では毎年春の彼岸に、その年の物故者を、会が伝統的に所持している過去帳に登載し、供養法要を行っております。この会の歴史において、県の長寿会役員を長年務められた先輩がおられます。玉利豊吉さんという方

です。ご存じの方もいらっしゃるかと思います。過去帳によりますと、昭和53年5月25日80歳となっております。霧島地区長寿会でも、伝統のある狭名田地区長寿会と自負しております。

我が地区も高齢化が進み、高齢者のパワーが必要不可欠であります。公民館の防犯パトロール隊に、多数長寿会の方々が参加してパトロール活動をしている現状もあります。地域の皆さんに大変喜ばれている存在であると思っております。

さて、現在の狭名田地区長寿会の活動について、年度当初から順を追って説明いたします。

毎年4月初めに、懇親会を兼ねた定期総会を開催します。年間活動の計画と予算を決めて、会員の融和と健康増進並びに知識のステップアップを目標に、一年の活動を始めます。定期総会は、昼食会を兼ねての総会で開催しておりますが、大変喜ばれて、総会の出席率も良いのであります。以前は、資金づくり作業でそば生産活動をして、その売り上げを活動資金にし、また、そばをみんなで打って食べて総会を開催しておりました。10年も同様の会が続いたのですが、会員の高齢化が進み、そば耕作が困難になってきて、そば食い総会は変更しなければならなくなりました。そこで、みんなが参加して健康づくり運動の一環として、グラウンド・ゴルフ大会を月例として開催し、先輩会員より寄附を受けた優勝トロフィーを、優勝者には授与することにいたしました。それに、参加費を徴収していますので、その運営で余った分を積み立て、活動費に充てるという案が総会で了承されて今日に至っております。

月例グラウンド・ゴルフ大会は、毎月25日と決められており、雨天の場合は、予備日が28日となっております。毎月のこの大会が楽しみで、健康維持増進につながっていると好評であります。4月のこの大会の後で役員会を開



き、5、6、7月の夏季の行事の概要や分担等について話し合います。

5月は、地区の環境美化活動の一環で、地域の空き地などに子ども会とともに花植えをし、花の育て方を教え、子どもとの異年齢のふれあいをします。月例グラウンド・ゴルフ大会の後で、役員が狹名田の長田の管理清掃を行います。多数の会員の方も参加してくれます。



6月は、第1日曜日に狹名田の長田のお田植え祭が行われます。霧島神宮との事前打ち合わせで、当長寿会から7～8名の早乙女・早男の参加要請があります。当日、午前9時から装束の準備に入り、10時から祭典が行われ、11時から田植えが始まり、1時間ほどで終了します。12時から直会という昼食会が1時間ほどあり、狹名田の長田のお田植え祭が終わります。

それに毎年6月は、霧島神宮のお斎田というのが神宮のそばにあります、そのお田植え祭に我々の会から毎年参加しているところであります。

9月の全国社会奉仕デーに、当会では、日豊本線の霧島神宮駅と、女性部が霧島神宮の文化財の清掃作業に当たります。月例グラウンド・ゴルフ大会が終われば、9月30日は狹名田の長田の抜穂祭(稲刈り)で、当会員、地区民の方が多数参加して、祭典から直会まで行われます。

10月初めに秋期定例役員会を開催し、研修旅行、忘年会の日程等を決定します。昨年度の研修会は、鹿屋健康ランドと鹿屋海上自衛隊の資料館でした。

11月は、月末に忘年会を開催し、飲んで、語って、楽しいひとときを過ごすことになっております。

12月は、私どもでは保険の切り替えをしなければなりません。本年度の加入者は、31名



となっております。以前は、会員が病気やけがをしたときに、会からお見舞いを差し上げておりましたけ

れども、本年度からは差し上げずに、この保険を活用することにしました。年寄りにはけがをしやすいため、この保険が大変有意義になっていると喜ばれております。

1月は、地域の子ども会の鬼火焚きで、呼びかけに長寿会も積極的に参加して、一緒に無病息災を祈願し、地域住民とふれあいます。



いよいよ期末に向けての総括で、会計決算監査と総会へ向けて準備をします。

毎月のグラウンド・ゴルフ大会、ボランティア活動、忘年会、研修旅行等、ふれあいがら生きがいを感じて、楽しく健康維持に努める会員の結束の強さに誇りを持っている次第であります。

それでは、1月の鬼火焚きの一コマをご紹介します。

「おじさん、いっぺちっあぐかい」「おお、ありがとうよ」「ほいで、わやだいじゃったけね」「はやのぶが長男やっど」「何よ、たかしゃね、なら。あや、誰よ」「あや、私げん息子やがな」「じゃっとや、のぶちゃんが孫ん子や」「はい



「たかしなんどがよ、こげなちんけまんごろじゃいごあつたがね、いっこのこめ、こげなふとかよかにせなつたっじゃろかい。のぶちゃんたち、よか跡取りがおっせえ、楽しんなこっじゃ。地区のためいもきばっくれよ」「はい、喜んで」

こうして、方言継承と異世代の交流が進みました。

終わります。(拍手)